

情報活用型プロジェクト学習 指導方略のヒント集（2019. 3. 24バージョン）

	収集	編集（整理分析・表現）	発信
学びのイメージ	明確な課題意識をもって、主体的に情報を集める	思考を働かせ、自分たちの考えをつくりあげる	相手意識をもって伝え、自分たちの学びをふりかえる
主体的な学び 意欲 + 見通し	①ミッションへの共感 （問題意識、憧れ、依頼） ②課題の設定 （ミッション解決手段の予想・見通し） ③探究の見通し （スケジュールの提示・プランニング） ④収集方法の検討 （手段、場所・相手、キーワード、質問）	⑩手段を選択する機会 （分析・表現方法を選ばせる） ⑪分析方法の検討 （情報の質や課題解決の方向性から判断） ⑫表現方法の検討 （分かったことや発信場面・手段から判断） ⑬振り返りの機会 （計画の評価・調整をする機会）	⑳発表前のめあての設定 （伝え方のめあて、伝える目的の確認） ㉑発表後の自己評価 （伝え方、質疑、準備状況のふりかえり） ㉒単元全体のふりかえり・評価 （学んだ内容、学び方、自身の変容） ㉓新たな課題の発見 （さらに深める、次の機会、他の方法）
対話的な学び 学び合い + アイデア創出	⑤疑問・解決アイデアの出し合い （ブレインストーミング、付せん紙の活用） ⑥課題づくり （アイデアを選ぶ条件、優先順位） ⑦チームづくり （生活班、課題別グループ） ⑧情報収集の分担 （テーマごと、手段ごと）	⑭集めた情報の共有 （共通・相違点や関連性、取舍選択） ⑮意見の相違や対立 （提案と根拠、対立点の視覚化） ⑯アイデアや解決策の創出 （妥協点の模索、情報の再収集） ⑰発信内容の点検 （相手を意識した工夫を相互評価）	㉔ミッションと成果物にあった場の設定 （発表時間、手段、空間、進行） ㉕ホンモノの評価 （リアルな発信相手の設定） ㉖フィードバックの確保 （質疑、コメントカード、アンケート等） ㉗伝わった・伝わらなかったことの確認 （成果物の再点検）
深い学び 見方・考え方 + 探究	⑨課題の点検 （単元のねらいとの対応） ⑩単元の基礎となる知識や技能の習得 （一斉指導や個別の習熟） ⑪情報収集の質と量 （ホンモノさ、多面的、読み解き甲斐） ⑫収集した情報の検証 （信頼性、新しさ、許諾条件の確認）	⑱教科の見方・考え方で整理・分析 （視点やキーワードの設定） ㉘情報の構造化・傾向の発見 （思考ツール、表やワークシートの工夫） ㉙型や制約条件の設定 （スライド構成、発表時間、使える資料） ㉚思考・表現を支える技能の指導 （似た問題の例示、失敗例から改善策）	㉘発表に対するルーブリックの設定 （発表内容・発表の仕方） ㉙質疑応答のレベル （事実確認・意図や理由・成果の発展） ㉚他の班の成果との統合 （別の立場、複数視点で考察、関連づけ） ㉛学習成果を個別に総括 （学習課題に立ち返る、自分の考えの変化）
ICT 活用	⑬ウェブでの検索・収集 （URL の記録、検索条件、要約の仕方） ⑭写真・動画・音声による記録 （カメラの持ち方、構図、環境を整える） ⑮データの収集・入力 （ウェブで収集、集計表の設計、センサ）	㉜協働学習ツールによる情報共有 （比較、統合が容易、写真・映像の利用） ㉝データの整理・分析 （表やグラフ、データベースの活用） ㉞デジタルで表現 （作文、プレゼン、動画、プログラム）	㉜拡大提示による発表 （指さし、書き込み・拡大しながら） ㉝ウェブや SNS への情報発信 （相手意識、著作権・肖像権の指導） ㉞ポートフォリオで学びの振り返り （映像でふりかえる・自己評価の変容）